平塚信用金庫の環境への取組みについて

【環境方針の制定】

環境への負荷が少なく持続的発展が可能な社会の構築に向けて、主体的な取組みを実践することが企業の社会的責任（ＣＳＲ）だと捉え、全役職員が統一した認識を持ち、各種施策を継続的に行うことを通じて企業文化としていくために「平塚信用金庫　環境方針」を制定しました。

1．基本理念

平塚信用金庫は、地域金融機関として環境保全活動を企業の社会的責任と位置づけ、環境への負荷が少なく持続可能な社会の構築に向けて主体的な取組みを行います。

2．行動指針

（１）環境面に着目した金融商品の提供等、金融機関の本来業務を通じて環境の保全に貢献します。

（２）資源、省エネルギー対策の推進による資源の効率的利用を通じて、事業活動に伴う環境負荷の低減に努めます。

（３）環境に関する法令等を遵守します。

（４）役職員一人ひとりが環境に配慮し行動することを目指し、環境に対する意識の向上を図ります。

（５）この環境方針を全職員に周知するとともに、公表を行います。

【ＴＲＩｂａｎｋエコプロジェクト】

平成２年、かながわ信用金庫、平塚信用金庫、さがみ信用金庫の３金庫は業務提携を行い、グループグブランドをＴＲＩｂａｎｋとして、これまで媒体品共同購入等の規模の利益を生かした取組み、合同キャンペーンや様々な情報交換等を行ってまいりました。平成２１年８月、３金庫本部職員が参加している業務専門部会において「地域金融機関として信用金庫も環境に係る取組みを地域やお客さまに発信し、それを広くアピールしていくべきである」という３金庫の共通認識から「ＴＲＩｂａｎｋエコプロジェクト」がスタートしました。

【海岸および河川清掃の実施】

平塚信用金庫は毎年平塚海岸及び厚木市の河川清掃のボランティアを実施しております。

【環境配慮型店舗の開設】

平塚信用金庫は、平成 24 年度より一部店舗に太陽光発電システムを設置し、店舗内で使用する電力の一部を賄っています。また、順次 LED 照明へ切り替えるなど、環境に配慮した店舗づくりを行っています。

【グリーンボンドへの投資】

平塚信用金庫は、地球温暖化をはじめとする環境問題の解決を目指す事業に必要な資金を調達するために企業や地方自治体等が発行する債券（グリーンボンド）への投資を行っています。

今後も、グリーンボンドをはじめとした ESG 投資を行い、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【ひらしんフードドライブ】

平塚信用金庫は、食品ロス削減等の取組みとして「ひらしんフードドライブ」を実施しました。地域のお客さまご協力のもとたくさんの食品が集まり、地域のフードバンクを通じて子ども食堂や食の支援が必要な方へ寄付することができました。

【ビジネスカジュアル、ノーネクタイの導入】

平塚信用金庫は、令和 4 年度より制服を廃止し、ビジネスカジュアル及びノーネクタイを導入しました。室内温度設定をクールビズ期間は 28℃以上、ウォームビズ期間は 20℃以下とし、各自服装等で調節するなど工夫し、空調設備のエネルギー削減に取り組んでいます。

【こどものみらい古本募金】

平塚信用金庫は、信金中央金庫と連携した取組み「こどものみらい古本募金」を実施しました。地域のお客さまのご協力によりたくさんの古本が集まりました。集まった古本は全て古本販売業者へ送付し、その買取金額等を「こどもの未来応援基金」へ寄付することができました。